

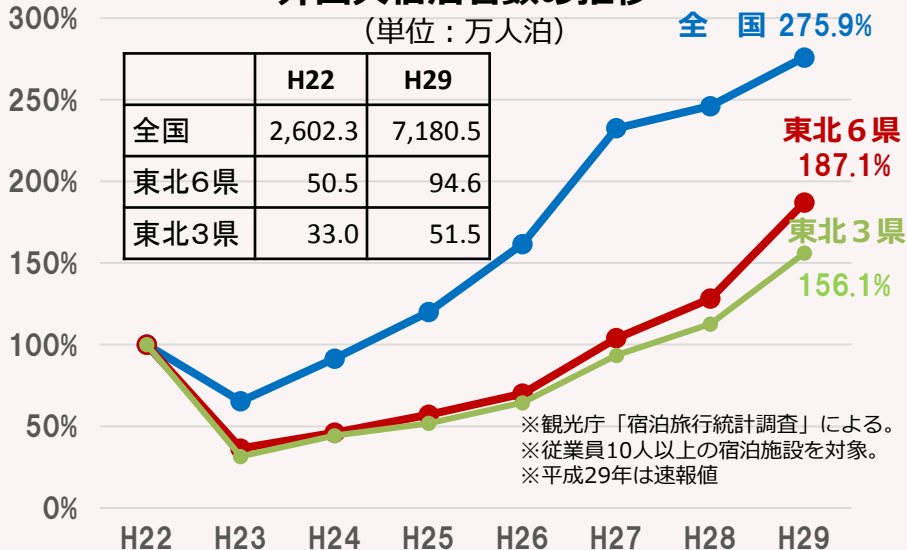
# 観光復興に向けた取組

- 東北の観光は、全国的なインバウンド急増の流れから大幅な遅れ。
- 「観光先進地・東北」に向けて、平成32年（2020年）に東北の外国人宿泊者数を150万人泊とする目標を設定するとともに、平成28年度から関連予算を大幅に増額。
- 引き続き、平成30年度も必要な予算を確保し、東北の観光復興を加速化。

## 東北のインバウンドの現状

### 外国人宿泊者数の推移

(単位：万人泊)



## 観光復興の成果 (外国人宿泊者数)

- 平成29年(1月～12月)の対前年同期比  
 全国: +12.1% 東北6県: +45.8% 福島県: +31.9%  
 ※観光庁「宿泊旅行統計調査」確報値による。  
 ※従業員10人以上の宿泊施設を対象。  
 ※平成29年は速報値。

## 主な事業 (H30：50億円)

- 東北観光復興対策交付金(観光庁)  
 (30予算：33億円)  
 - 地域の発案に基づくインバウンド誘客に向けた取組を支援。  
 - 東北各県が東北観光推進機構等と連携して行う広域的な取組を促進。
- 東北観光復興プロモーション(観光庁)  
 (30予算：10億円)  
 - 全世界を対象としたデスティネーション・キャンペーンとして、東北を対象とした集中的な訪日プロモーションを実施。
- 「新しい東北」交流拡大モデル事業 (復興庁)  
 (30予算：4億円)  
 - 外国人旅行者の誘客につながる民間の新たなビジネスモデルの立ち上げを支援。  
 - 平成30年度から、地域型を創設。復興局主導で、被災沿岸部等の事情に応じたビジネスモデル構築を目指す。
- 福島県観光関連復興支援事業(観光庁)  
 (30予算：3億円)  
 - 福島県が実施する教育旅行の誘致を含めた国内観光復興に関する取組を支援